

令和7年度 北海道地域スポーツネットワーク会議 開催要項



北海道スポーツ
みらい会議

1 目 的

地域住民により自主的、主体的に運営されている総合型地域スポーツクラブの育成・支援や、市町村やスポーツ関係団体等との相互の連携・協働体制の構築により、本道におけるスポーツの普及・振興を図る。また、国の第3期スポーツ基本計画を踏まえ、運動部活動の地域移行など、各地域が抱えるスポーツに関する諸課題の解決の道を探る。

今年度は、「持続可能な地域スポーツの環境づくりに向けた団体連携」と題し、地域スポーツ環境におけるスポーツ関係団体それぞれの課題、役割や地域スポーツを支える人材など、団体の垣根を越えた認識を共有することで、新たな地域スポーツ環境構築に向けた団体連携の一助とする。

2 主 催 北海道、北海道スポーツみらい会議

3 共 催 公益財団法人北海道スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

4 会 場 北海道立総合体育センター（札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1） ☎011-820-1703 市営地下鉄東豊線 「豊平公園駅」直結

5 期 日 令和8年1月24日(土)～25日(日)

6 参加対象

総合型地域スポーツクラブ関係者、スポーツ推進委員、体育・スポーツ協会役職員、各種スポーツ団体関係者（スポーツ少年団、レクリエーション団体、障がい者スポーツ協会等）、大学スポーツ関係者、企業スポーツ関係者、市町村スポーツ担当者等

7 日程及び内容

＜テーマ＞ 持続可能な地域スポーツの環境づくりに向けた団体連携

＜1月24(土)＞ 会場：講堂・視聴覚室、大研修室

13:30 14:00 14:05 15:00 15:10 15:40 15:50 16:30

受付	開会	情報提供	休憩	事例紹介① 【20分発表＋5分質疑】	休憩	意見交換	閉会
----	----	------	----	-----------------------	----	------	----

(1)情報提供

テーマ「持続可能な地域スポーツ環境に向けた体制づくり（地域スポーツ推進団体連絡会議における検討状況）」

講師：北海道教育大学岩見沢校キャンパス長・教授 山本理人 氏

＜概要＞

令和6年6月、持続可能な地域のスポーツ環境づくりを目指し、関係団体が課題や役割を共有しながら、相互に連携・協働できる体制を促進するため、「地域スポーツ推進団体連絡会議」が設立され、構成員（北海道スポーツ協会、総合型地域SC連絡協議会、スポーツ少年団委員会、管内体育・スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、北海道庁、北海道教育委員会、学識経験者）による情報共有・意見交換が行われています。

同会議で寄せられた課題や現在の検討状況について、情報提供します。

(2)事例紹介

① 登別市におけるスポーツ関係団体の連携状況

説明者： 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 副会長

総合型地域スポーツクラブ NPO 法人おにスポ 理事長 磯田大治 氏

＜概要＞

登別市では、令和2年度から「地域スポーツのあり方検討委員会」を設置し、休日の部活動の地域移行について議論と実践研究を進めてきました。令和4年12月に委員会から提出された提言書では、スポーツだけでなく文化活動も一体的に地域クラブ活動へ移行し、「登別市文化・スポーツ振興財団」がその運営を担うことが望ましいとされています。登別市は、この提言を踏まえて令和5年度以降、地域クラブ活動への移行を推進し、将来的には中学生だけでなく市民全体が参加できる基盤づくりを段階的に進める方針です。

(3)意見交換【地域別、団体混合】

地域別に分かれ、それぞれブースを作り、テーマに沿った意見交換を行う。

ブース構成：①総合型クラブ関係者 ②スポーツ推進委員 ③少年団 ④体育・スポーツ協会
⑤民間・団体 ⑥自治体

意見交換テーマ「地域スポーツ環境におけるそれぞれの課題、役割の再認識」

＜1月25日(日)＞ 会場：講堂・視聴覚室、大研修室

9:30 10:00 10:05

11:00 11:10

12:00

受付	開 会	事例紹介②、③ 【40分発表＋10分質疑】	休 憩	意見交換	閉 会
----	--------	--------------------------	--------	------	--------

(1)事例紹介

② 地域スポーツを支える人材の育成

説明者：NPO法人幕別札幌内スポーツクラブ クラブコーディネーター 小田新紀 氏

＜概要＞

幕別町では、NPO 法人幕別札幌内スポーツクラブ（総合型地域 SC）が、幕別町スポーツ少年団本部の事務局を担い、町内スポーツ少年団員が交流できる事業を開催するなどの取組を進めています。

また、現在 JSP0 がスポーツ少年団と総合型クラブの連携事業に取り組んでおり、その一環として今年度から日独同時交流派遣事業に総合型クラブ会員が参加できることとなりましたが、当クラブより全国で唯一クラブ会員を派遣しており、人材育成にも積極的に取り組んでいます。

③ スポーツ少年団と総合型スポーツクラブの連携

説明者：公益財団法人北海道スポーツ協会生涯スポーツ課長 小松洋介 氏

＜概要＞

公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）は、2024 年度に「地域スポーツ連携促進会議」を設立し、スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブの連携促進のための施策を検討しています。現在は別組織の少年団と総合型クラブが活動場所や人材、財源の確保などで連携し、特徴を補完し合うことで、地域クラブの体制強化、子どものスポーツ機会の拡大、生涯スポーツ人口の増加などの効果が期待されます。

同会議の検討状況や北海道スポーツ協会で実施している連携事業について、情報提供します。

(2)意見交換【地域別、団体混合】

前日の意見交換と同じブースに分かれ、テーマに沿った意見交換を行う。

意見交換テーマ「地域スポーツに必要な人材について」

8 申込み方法・お問い合わせ先

参加希望者は、次のアドレス若しくはQRコードから参加申し込みフォームに進み、必要事項を入力の上、お申し込みください。

申込期限：令和8年1月15日(木)必着

<https://www.harp.lg.jp/XILXzqpa>



【お問合せ先】

北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課（担当：中川）

電話：011-204-5209（直通）

9 その他

- (1) 講習会の参加費は無料です。
- (2) 参加に要する経費は、個人負担となります。
- (3) 参加者の方の駐車場利用はできませんので、公共交通機関をご利用ください。